

教科名（ 保健体育 科 ）

（ 1 ）学年対象

科目名（ 体 育 ）

学 習 指 導 案

1 育成する能力

- (1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解する。
- (2) 作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開できるようにする。

2 取り上げる題材・単元

大修館書店 現代高等保健体育
球技 「ネット型」 バレーボール

3 学習活動における具体的な評価規準

知 識 ・ 技 能	思 考・判 断・表 現	主体的に学習に取り組む態度
役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けての運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。	球技に自主的に取り組み、作戦などの話し合いに貢献しようとしたり、一人一人の違いに応じたプレイを大切にしたりする。

4 学習活動の展開案と評価規準

時 間	学 習 活 動	評 価 規 準
1	オリエンテーション ・支柱の立て方やネットの張り方等を知る。 ・バレーボールの特性を知る。	・自己の役割を理解し取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】
2～5	基本的技能の習得 ・パス、サーブ、スパイク等の基本的技能を身に付ける。 ・個人の課題に応じた練習方法を考え、積極的に取り組む。	・狙ったところにボールをコントロールすることができる。 【知識・技能】 ・自己の課題を見つけ、解決に向けて取り組むことができる。 【思考・判断・表現】
	正しいフォームで、安定したボール操作ができたか。	
6～11	発展的技能の習得 ・ゲームを通じて、チームの課題を見つける。 ・ラリーを継続するためのポイントや練習方法を知って取り組む。 ・仲間と協力し、質の高いゲームを目指して意欲的に取り組む。	・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。 【知識・技能】 ・関係プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くことができる。 【知識・技能】 ・試合を通じて互いに良いところを認め合うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】
	個人の役割とチームでの連携を理解できたか。	
12～14	審判法 ・審判法を理解し、ゲームを運営する。	・審判法を理解し、より深く種目の特性を理解する。 【知識・理解】